

# 子ども達の未来のために地域医療を守りましょう

保護者の皆様へ

須賀川市長 橋本克也

日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、いよいよ今年10月1日から小学6年生までの医療費助成制度がスタートいたします。そこで、あらためて保護者の皆さんに制度の趣旨と課題についてご理解とご協力をお願い申し上げます。

本制度は、多くの市民の皆様の高い期待の反面、医療関係者からは、医師不足が深刻な状況にあって、過重な負担が医師を疲弊させてしまうのではないかなどの懸念が示されております。

全国的な問題となっている病院勤務医師の長時間勤務からくる過労については、須賀川市においても例外ではなく、大変厳しい状況にあります。

その理由の一つは医師不足であります。その他に夜間や休日などの時間外に受診される方が多いのも大きな原因です。中でも、公立岩瀬病院は入院を必要とする小児科の救急医療を実施しておりますので、勤務医師は夜間や休日に勤務した翌日も引き続き勤務しなければならない状態が続いております。

医師不足は、絶対数の不足や臨床研修医制度など、すぐには解決できないものもありますが、時間外の受診は皆様のご理解とご協力で、病院勤務医師の負担緩和が可能です。もちろん、入院が必要な救急医療は迷わず受診すべきです。そのための救急病院です。

しかし、軽症の患者さんの時間外受診は、医師の負担を一層深刻なものとするので、軽症の患者さん、特に小児救急は保護者の皆さんのご理解とご協力で勤務医師の過重な負担を軽減させていただきたいと思っております。

急を要しない安易な時間外受診、いわゆるコンビニ受診は、須賀川市の地域医療を崩壊させかねません。

（2）子どもを育てる環境づくりの未来の姿は？

私は、保護者の皆さんと共に良識ある制度運用を図ることで、地域の未来を担うすべての子どもたちの命と健康をしっかりと守り、直面する少子高齢社会を地域として支える、安心な須賀川市を市民の皆さんと共に創っていきたくと考えております。

現在、地元医師会の先生方をはじめ、医療関係者の皆さんも厳しい環境の中、最善の努力を尽くしていただいておりますが、地域医療を守っていくためには、医療を受ける側の私たちも誠意を持って応えていかなければなりません。

「医療資源を大切にすることは、私たち自身を守ることです。」

保護者の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。